

平成25年度 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金【採択事業一覧】

番号	事業名	事業概要	申請者	実施場所	実施期間
1	鏡川自然塾運営事業	高知市を流れる鏡川とその流域を高知を代表する自然環境としてとらえ、その現状を科学的に把握するとともに、環境(自然)学習活動を通じて自然の仕組みを科学的に理解し、調査、記録する市民を育てるための「鏡川自然塾」を運営する。 塾の運営に当たっては大学・研究機関、行政、市民との協働で実施し、地域の自然の現状を明らかにするという新しいスタイルの取り組みモデルをつくる。	NPO法人環境の杜こうち	高知市	H25.8.1 ～ H26.3.25
2	「薪のある豊かな昭和の豊かな暮らし学校」開校	薪エネルギーは、地球へ与える負荷が小さく、森林県高知として化石燃料代替エネルギーとして持続可能な経済社会に寄与すると考える。一方、「薪」がエネルギーの主流だった昭和30年頃までの生活様式を現在も残す中山間地域に住む高齢者世帯は、質素ではあるものの心豊かな暮らしを自然に実践している。このことから、次世代を担う子どもやご両親たちを対象に、「薪づくりから薪宅配、薪宅配から高齢者たちに学ぶ環境にやさしい住まい方」をテーマにした地球にやさしい豊かな暮らしの学校を開校し、循環型社会を意識した環境行政を学ぶステージを提供する。	NPO法人土佐の森・救援隊	日高村・仁淀川及び吉野川中上流域の町村	H25.8.1 ～ H26.2.28
3	旅する蝶・アサギマダラと豊かな高知家の里山環境を育む事業	県内の小学生・市民らと連携し、高知県を中継地として長距離移動するロマンに満ちた不思議な蝶アサギマダラの食草と吸蜜植物を植栽し森林環境を整備する。秋季には本州などから飛来する本種を観察しマーキング・放蝶し、観察地周辺の食草に産卵し孵化した幼虫の生活史調査を行い、子供達と自然のすばらしさ、命の大切さを体験学習し、人間と身近ないきものとの共存、命の源である豊かな森林と自然の恵みを共有する環境保全事業を推進する。	アサギマダラの里in秋葉山	高知市 香美市 香南市 佐川町 四万十町	H25.8.1 ～ H26.3.15
4	高知県におけるコウモリ保護および人とコウモリとの共存を図る方法を模索するための生息状況把握調査	高知県の生物多様性保全を目的に、コウモリ目の生息状況調査を実施し、生息種の把握、既存文献に基づく現況把握、人工構造物の利用状況把握をするとともに、調査では高知県の生物に興味を持つ地域住民や大学生と連携することで、自然科学研究を行う後継者の育成も図りながら、得られた成果は、コウモリの生息地保護や人とコウモリとの共存の方法を模索するための基礎資料として利用し、高知県の自然環境をテーマにした観察会や講座などの環境学習への活用を図る。	NPO法人四国自然史科学研究センター	高知県全域	H25.8.1 ～ H26.3.20
5	スポットチェック10年の歩み「奈半利・田野沖サンゴ群集の10年」調査研究報告会	平成15年より継続的に行なっている環境省「モニタリングサイト1000」事業が10年目となる節目を迎え、これまでの調査結果をまとめ広く公表すると共に、その記録を冊子として後世に残し、今後の温暖化問題や生物多様性社会構築の為の情報を地域住民と共有することを目的とした報告会を開催する。	天然資源活用委員会	奈半利町 田野町	H25.8.1 ～ H25.11.30
6	三崎川における実践的環境学習と研究発表会「はたのおと2014」の開催	川に興味ある地域住民が自然環境調査という実践的環境学習を通して身近な川(幡多地域にある三崎川)を知る活動と、その調査研究成果が地元でわかりやすく公開される研究発表会「はたのおと2014」の開催をおこなう。	研究会「はたのおと」	土佐清水市 他	H25.8.1 ～ H26.3.20
7	黒尊川水辺林再生事業	地域資源である黒尊川を外来者や観光客に豊かな水辺の自然環境を知ってもらい、川に親しんでもらうよう、これまで河畔林の間伐や遊歩道の整備を実施してきたが、年月の経過とともに、雑木等が生い茂り、キシツツジ、トサンモツク及びヒメイワギボウシなど水辺に生育する希少な植物の個体数が減少しているため、間伐や枝切り等を行い、風とおしや日当たりを良くすることで水辺の生態系を保全し、あわせて遊歩道の整備を行うことで、多くの人が川辺に降り、川と親しめるように水辺環境の再整備をすることを目的とする。	しまんと黒尊むら	四万十市 西土佐口屋内、 玖木、 奥屋内	H25.11.10 ～ H26.3.10
8	サルとの共存に向けた被害対策の取り組み	中土佐町笹場地域において、サルによる被害の軽減のため、地域住民が主体となり、サルを誘引しているミカン類の収穫を行う。収穫したミカンはジャムに加工し配布することで、高知県内の各地へこのような対策を広く普及する。現在、高知県の各市町村で無計画な有害捕獲が実施されており、このままではサルの地域個体群の絶滅等も懸念される。捕獲に頼らず、誘因物を除去し、サルを寄せ付けない地域にすることで、サルとの適正な棲み分けが可能となる。サルとの共存に向けた被害対策の取り組みを普及することを目的とする。	NPO法人四国自然史科学研究センター	高岡郡中土佐町笹場地域	H26.1.20 ～ H26.3.25
9	感性豊かな子どもたちの育つ里山自然遊び学び場づくり	県立のいち動物公園に隣接する「のいち冒険の森(のいち憩いの森)」では、子どもたちを森へと誘う季節ごとの「森の学校」開催や「里山の学校(山の一日先生派遣事業)」を開催し、参加者への感動体験の提供に資する取り組みを行っている。今回、ここでの感動体験内容をより充実させるために、新たな施設の設置と、これまで維持管理してきた既存施設の修繕並びに増強を図り、感性豊かな子どもたちの育つ里山自然遊び学び場を提供することを目的とする。	香長ネイチャーゲームの会	のいち憩いの森(県立のいち動物公園西隣)	H26.1.16 ～ H26.3.18

平成25年度 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金 【採択事業一覧】

番号	事業名	事業概要	申請者	実施場所	実施期間
10	代かき濁水対策普及促進事業	<p>物部川流域ではかねてより、本川の流量不足の問題とあわせて農業濁水による水環境悪化の問題が表面化しており、平成20年策定の「物部川清流保全計画」においても、農業濁水対策の推進が取組項目のひとつとして明記されている。</p> <p>代かき濁水抑制・軽減のための有効な対策は「浅水代かき」と「止水板の利用」を各農業者が実践することであり、また、広報活動も不可欠である。</p> <p>そのため、物部川の清流保全再生を目指し活動している当会が、農業系団体や関係行政機関との協働により、① 農業濁水防止のための対策(浅水代かきと止水板の利用)の普及促進、② 物部川流域住民(今回は主に農業者)の清流保全意識の醸成、③ 取組を通じた、流域における清流保全再生ネットワークの強化を行う。</p>	物部川21世紀の森と水の会	香美市、南国市、香南市	H26.1.15 ～ H26.3.25
11	東洋町生見海岸におけるアカウミガメに対する獣類による食害防止検討事業(予備調査)	<p>東洋町生見海岸では、以前よりアカウミガメの産卵が確認されているが、近年その卵を何らかの動物が食害する例が観察されるようになってきた。早急にアカウミガメの卵を食している動物を確認し、その対策を講じることが必要となっている。本事業では、その予備調査として、センサーカメラを用いて、生見海岸周辺に生息する哺乳類ならびに産卵場所である砂浜に侵入している種の把握を行い、対策の基礎とする。</p>	NPO法人四国自然史科学研究センター	東洋町生見海岸	H26.1.20 ～ H26.3.25
12	ヤイロチョウ保護区の森の監視及び調査の為にウェブカメラシステム導入事業	<p>ヤイロチョウは国の絶滅危惧種、高知県の鳥や四万十町の鳥に指定されているが、地域住民すらほとんど目撃したことが無い希少な鳥である。当協会は、全国からの募金や寄付金で生息地の森を取得し、生態系保護区として管理してきた。当協会の保護調査、普及教育研修施設として2014年7月にネイチャーセンターがオープンするため、人々がたくさんヤイロチョウの森を訪れることが予想される。そこで、保全・管理・普及啓発の目的で、ウェブカメラを設置する。</p>	生態系トラスト協会	四万十町下道	H26.1.15 ～ H26.3.20